

事務事業名	コード1	1045	育児支援事業	課	健康管理課			
	コード2	⑨	乳児ふれあい体験教室	所属班	支援班			
			<input type="checkbox"/> 主要事業	電話番号	57-3113	内線	一	
政策体系	基本方針	3	健やかでやすらぎのあるまちづくり	予算科目	会計	款	項	目
	施策	1	保健の充実	根拠法令	一般会計	04	01	03
	施策の展開	4	母子保健の充実					
	基本事業	136	育児支援事業					

1 現状把握(Do)

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 ※何をどのようにする事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 13 年度～ <input type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで ※全体像を記述→	将来、家庭を築き子どもを生き育てる人に対し、乳児とふれあう機会を通して、命の尊さや自分を大切にすること、子育てのあり方を考える場とする。また、妊娠・出産・育児についての正しい知識の啓発を図る。講義は助産師が対応し、命の大切さや二次性徴、妊娠のメカニズム、分娩経過など、対象学年に合わせた内容を話している。赤ちゃん人形で抱っこ仕方を練習したり、妊婦体験ジャケットを実際に生徒に着てもらい、妊婦の大変さを実感してもらおう。ふれあい体験では、育児サークルや乳児健診に来た親子に協力を依頼し、中学生の赤ちゃん抱っこ体験や、母に妊娠・出産・育児のエピソードなどを聞く機会とする。 【業務の流れ】 講師・学校打ち合わせ⇒事前アンケート⇒(当日)会場準備⇒助産師講義⇒赤ちゃん人形抱っこ、妊婦体験ジャケットの体験⇒乳児とその母、中学生のふれあい体験⇒感想など発表⇒終了後アンケート

(2) トータルコスト

① 事業費の内訳(費目等)	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	26年度(計画)
臨時雇賃金・交通費	千円	110	49	82			
消耗品費	千円						
計	千円						
(育児支援事業費案分)							
② 延べ業務時間の内訳	事業費	千円	92	49	279	202	
【準備】学校・講師助産師打合せ、資料作り、事前アンケート集計など	事業費計(A)	千円	202	98	361	202	0
【当日】会場準備、教室運営	人員	人	0.12	0.12	0.12	0.12	
【終了後】報告、事後アンケート集計など・・・計240時間	延べ業務時間	時間	240	240	240	240	
	人員費計(B)	千円	912	912	912	912	0
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,114	1,010	1,273	1,114	0

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	⑤ 活動指標名	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	26年度(計画)
	23年度実績(23年度に行った主な活動) 開催希望のあった市内中学校4校のうち3校(旭二中、海上中、飯岡中)で延べ10回教室を開催した。(1校は感染症流行のため中止)	ア 開催中学校数	校	2	3	3	5		
	24年度計画(24年度に計画している主な活動) 市内中学校5校へ希望調査をし、開催予定	イ 教室受講生徒数	人	154	284	462	669		
目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	⑥ 対象指標名	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	26年度(計画)
	中学生	ア 中学校3年生生徒数	人	677	670	630	669		
	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標名(考え方)	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	26年度(計画)
	妊娠・出産・育児について学び、子育てや赤ちゃんに対して肯定的なイメージを持つことができる。	ア 事後アンケートで「赤ちゃんは小さくてかわいい」と答える生徒の割合()	%	64.9	59.9	59.5			
上位目的	④ さらに、どんな上位目的に結び付けるのか	⑧ 上位成果指標名(考え方)	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	26年度(計画)
	命の大切さを実感し、自分自身を大切にすることができる。	ア 自分の命を「大切」と思う生徒の割合()	%	81.2	41.5	55.4			
		イ 18歳以下の母子健康手帳交付件数()	人	5	2	4			

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 開始したきっかけは何か？どんな経緯で始まったか？	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか？開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったか？	③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
合併前の飯岡・海上町で教室や職業体験として小中学生と乳児のふれあい体験を開催していた(飯岡町で平成13年から)。合併後、現在の形になり市内中学5校へ希望調査を行い依頼のあった学校で開催している。	・平成16年の「少子化社会対策大綱」に基づく重点課題として、生命の大切さ・家庭の役割等についての理解を促すため乳幼児とふれあい機会の拡大・提供が推進された。 ・現在は心の健康問題や性感染症予防など、学校の実情に応じ担当教諭と打合せをし講義内容を修正しながら開催している。 ・毎年、教室実施前に行っている生徒への事前アンケートでは、赤ちゃんを抱っこしたことがない人が6～7割いる。	・中学校からは「赤ちゃんとうれあう生徒はいつもと違う顔を見せてくれる」「こういう機会はないので継続してほしい」と要望あり。 ・参加した母子からは「赤ちゃんにとって良い経験になった」「中学生が一生懸命あやしてくれてうれしかった」と感想あり。

事務事業名	育児支援事業 乳児ふれあい体験教室	課名	健康管理課	班名	支援班
-------	----------------------	----	-------	----	-----

2 評価(Check1)担当者による事後評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↘ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↘ この事務事業の目的は市の政策体系に結びつかないか？意図することが上位目的に結びついているか？
	② 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↘ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↘ 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？
	③ 行政関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↘ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↘ なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して実施すべきか？
有効性 評価	④ 成果の現状水準	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↘ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↘ あるべき水準や目標に達しているか？近隣市や類似団体と比較してどうか？
	⑤ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 活動量を増やせば成果は向上する ⇒【理由】↘ <input type="checkbox"/> 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は向上する ⇒【理由】↘ <input checked="" type="checkbox"/> 活動量を増やしたり、活動を工夫したりしても、今以上成果は向上しない ⇒【理由】↘ 次年度以降の成果向上が期待できるか？事務事業を取り巻く環境変化等を考慮するかどうか？
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↳ (1) 事務事業名：() (2) <input type="checkbox"/> 統廃合ができる ⇒【理由】↘ <input type="checkbox"/> 連携ができる ⇒【理由】↘ <input type="checkbox"/> 既に統廃合・連携している ⇒【理由】↘ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↘ 他に手段がある場合 (1) 具体的にはどのような事務事業か？ (2) 類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(表面トータルコストの事業費部分)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↘ 事業費を削減できないか？(経費の精査、過剰仕様の適正化、回数削減、住民の協力、アウトソーシングなど)
	⑧ 人件費の削減余地(表面トータルコストの人件費部分)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↘ <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↘ やり方の工夫(業務プロセスの改善など)や臨時職員の活用・委託により、正規職員の延べ業務時間を削減できないか？
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↘ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↘ 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担が公平・公正になっているか？

3 評価(Check2)担当課長による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	次世代を担う中学生に命の大切さや妊娠出産育児について知ってもらうことができる貴重な機会となっている。学校によって開催方法が異なるために、日程調整・打合せやアンケート集計等の事前準備に多くの時間がかかってしまう。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(Plan)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可)	※2~3年後を目処にした方向性	(3) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善による成果向上 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善による事業費削減 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携(関連事業：) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善による延べ業務時間削減 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化																						
(2) 改革改善案について	※いつまでに、なにを、どうするのか？	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	○			低下			
					コスト																		
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持	○																					
	低下																						
(4) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							
①	これまで毎回とってきた、事前事後アンケートの集計・分析を行い、教室開催するにあたって必要な質問項目を絞っていく。																						
②																							
③																							
④																							